

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。  
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

もう1年近く新型コロナにより、窮屈な生活を強いられました。今年が皆様にとって良い年になることを心よりお祈り申し上げます。そして医療現場で命をかけて奮闘している医療関係者には心から感謝申し上げます。

予想だにできなかった厳しい時代に入り、本来、京都・国の将来にむけてやるべき政策に手を回せないのは、非常に残念です。しかし、コロナの第三波の状況を踏まえると、まずは1) コロナ対策と2) 零細企業や個人商店を中心に経済支援に万全を期すことが最優先です。

政府の対策が後手後手になっているのは是正していただいて、私たち一人ひとりが医療負担を軽くするためにできることは、「三密」を避け、マスク・丁寧な手洗いを実行するしかありません。

これは「家に閉じ込める」という意味ではありません。感染予防の意識をもって行動すれば、それなりの活動ができます。とりわけ高齢者や女性の心身の健康が心配です。友人と一緒に散歩するなど、むしろ積極的に外に出ることが望まれます。

専門家の報告をみれば、感染者には「咳や微熱などの症状があるのに出歩いた人」が多くいるようです。大事なのは、

- 1) 症状が少しでもあれば自主的に仕事や人と会うのを避けて感染拡大の原因にならないようにすること。
- 2) 症状が増したら、病院に入院して適切な医療を受けること。

以上の二点が守られたら、感染拡大も死亡数も抑えられます。

結局、「増えたら自粛、減ったら活動再開」を繰り返す以外、コロナを抑える方法はありません。困難な時代ですが、今年も皆様と共に歩んでまいりますので、よろしくお願ひします。